

とらぬし



笑顔の家族

白川郷（岐阜）で楽しい家族の大集合です。

フォトサークルA 千田 ムツ子

●目次

笑顔の家族	1P	がん相談支援センターだより	5P
新年のごあいさつ	2P	医療安全講演会	6P
理事長 野村 直樹		働く仲間	
本部長 日野 浩司		かかしプロジェクト	
リハビリ通信「冬の脱水について」	3P	歳時一覧	7P
外出や通所が難しいお子様に、育ちの支援(療育)サービスをはじめます!		ペットのはなし	8P
～居宅訪問型児童発達支援の開設に向けて～		編集後記	
第2事業部		関連施設一覧	
かけはし ～登録医紹介～	4P		
マンモグラフィセンター			

新年あけましておめでとうございませす



三思会 理事長
野村 直樹

あつたら早期に病院受診をしていただき、診断をつけていただくことが重要であると考えます。そして2022年早期に新型コロナウイルス感染症が我々の手によって制御されることを期待します。

東名厚木病院は昨年引き続き、がん治療、特に高齢の方たちのがんに対して、様々な手段をもってお支えしたいと思っております。がんを治す、治らなくてもがんと共に生きる、そしてがんによる肉体的精神的苦痛を開放する。そういった複数の観点からのがん対策を“神奈川県がん連携指定病院”としての責任ある立場のもと務めていきたいと思っております。

地域の開業医の先生方、連携登録医の先生方や多くの医療福祉団体、そして行政ともしっかりと連携のもと対応させていただきます。またがんに関する様々な相談も承っております。“がん相談支援センター”を設置し、なんでも結構です、遠慮なくご相談いただければ幸いです。

最後になります。本邦はまさに超高齢社会を迎えており、そしてまたまぐるしく変動する温暖化や災害等の環境問題の中にあります。それらをしっかりと見据え、地域の皆さんが将来も安心して暮らしていけるよう前述のがん対策も含めた地域包括ケア社会づくりに貢献してまいりたいと思っております。

2021年も新型コロナウイルスに振り回された一年でした。第5波で皆さんも大きなストレスをお感じになられたと思いますし、たとえば本邦においては確実な原因もわからないままに想定以上に短期間に収束してしまいました。第6波も危惧されているところですが内服薬等の新しい武器も備わり、今まで以上にしっかりと戦える環境作りはできていると思っております。皆様には確実な状況をお伝えしながら対応していきたいと思っております。今年はずっと第3回目のワクチン接種が始まる予定です。ワクチンの効果は立証されています。是非3回目のワクチン接種をお勧めします。またこれからの寒い時期、インフルエンザの動きも全く読めません。昨年のように我々の日常の感染防御対策下においてはほとんど発生しないのか、あるいは昨年感染が少なかったためにインフルエンザに対する皆さんの免疫が低下し例年以上の流行が起こるかもしれないという方もいます。いずれにしてもコロナ禍において身に着けた自身の防御をしっかりと励行し、発熱や感冒症状が

本年度もさらなる皆様からのご支援を賜りますことをお願いし、新年のご挨拶にかえさせていただきます。



法人本部長
日野 浩司

新型コロナウイルス感染症で揺れた社会から、明るい未来が想像できる年になることを心より希望しています。

旧年中は、皆様も新型コロナウイルス感染症の波で、様々な変化があったことと思います。外食の自粛、リモートでのお仕事、買い物や病院・クリニックに行くのでさえためらう日常の変化に戸惑いを感じた方も多かったのではないのでしょうか。

生活の中でマスクやアルコール消毒が大きなウエイトをしめ、重要なアイテムにもなりました。この流れは短期間ではもとに戻れないと感じます。とすれば、私たちもこの生活を前向きに受け止め、許容する事も重要なことではないでしょうか。

マスクによって新型コロナウイルス感染症の対策だけでなく、感

冒やインフルエンザという、今まではそこら中にあつた感染症から身を守ることが出来るかもしれない。また、不要な外出を見直し、より効率の高い生活、有意義な社会行動に繋がっていく可能性も考えられます。新型コロナウイルス感染症が今後どんな手段に出るか、はわかりませんが、上手に付き合ひ、私たちの力で制御できる日が来ると信じています。

私たち社会医療法人社団三思会としても、皆様の健康に、保健・医療・介護・福祉を通じて貢献していく所存です。新型コロナウイルス感染症の影響で、受診控え、検診控えもおこっており、今後疾病の増加も懸念されています。

本年も皆様に寄り添い、皆様健康に、そして幸せに暮らしていけるよう、私たちも努力してまいります。





1、地球にもからだにも大切な水

近年話題のSDGsでは、安全な水を世界中に届けることや海の豊かさを守ることが目標として掲げられていますね。環境においてはもちろんのこと、私達のからだにとっても水は大切な存在です。

私達のからだは、55〜60%（成人の場合）が水分と電解質で構成される「体液」できています。体液は酸素や栄養素・老廃物などの運搬、体温調節など生命活動に重要な様々な役割を担ってくれています。

2、冬の脱水症

脱水症とは、体液が失われ必要な水分と電解質が不足している状態です。

夏のイメージが強い脱水症ですが、冬にも起こり得ることをご存知でしょうか。

冬の脱水症は

① 空気の乾燥により吐く息や皮膚から蒸発する水分が増える

② のどの渇きを感じにくく、水分摂取が不足する

③ 汗をかいていることを感じにくいなどの要因により、気づきにくいという危険があります。また、運動時は集中していたり体が興奮状態にある為、脱水症状を感じにくくなります。その為、早い段階で変化に気づくことや日頃の予防が大切となります。

3、脱水状態の確認方法

① 爪を押す

爪の色が白からピンク色に戻るまで3秒以上かかる

② 手の甲をつまむ

離しても皮膚がすぐに戻らない

③ 口を確認

舌が乾いている、口の中がねばつく1つでも当てはまるようであれば

脱水状態の可能性あり。

4、予防

一番の予防は水分補給です。のどの渇きを感じる前に水や白湯をこまめに摂取することをおすすめします。また、運動後や発熱時はスポーツドリンクや経口補水液などで電解質を補給することも重要です。しかし、これらの飲料には糖分や塩分が含まれていますので、血糖や血圧を管理中の方はご注意ください。

上手に水分補給をし、厳しい冬を乗り切りましょう。

リハビリテーション科

土方麻衣



第2事業部

★ 外出や通所が難しいお子様に、育ちの支援（療育）サービスをはじめます！★

～居宅訪問型児童発達支援の開設に向けて～

多機能型事業所にじいろは、主に医療的なケアが必要な重症心身障がい児者に対して、安心して通い、活動できる機会を提供しています。また、訪問看護ステーションもみじと一体的に支援することで、在宅での細やかなケアやご家族の安心した地域生活を目標にしています。

にじいろに通われているお子様方は、感覚や運動からの刺激や体験が得られにくく、それらを経験として積み重ねていくことが苦手です。そのため、医療・保育・介護・リハビリの多職種でかわり、体調の下支えをしながら、製作やゲーム、音楽、散歩などの療育活動を通して、楽しみや達成感とともに成長発達を促すように支援しています。

昨今、重度な障がいがあっても病院を退院されて地域生活をされているお子様も増えてきています。そのような重度の障がいによって通所や外出が難しいお子

様方にも成長発達や生活に必要な育みと、ご家族の喜び、地域生活が少しでも豊かになるように、ご自宅に訪問して同じような療育サービスを提供していきたいと考え、令和4年1月を目標にして、「居宅訪問型児童発達支援」をいう新しい事業スタートできるように準備を進めています。



医療法人社団星林会 小児科内科落合医院

《所在地》

〒243-0033

神奈川県厚木市温水1016

TEL: 046-247-1577

院長 片山 文彦

「明日にかける橋」という曲、聞き覚えございませんか。1970年リリースされたあのサイモン&ガーファングルの代表作で大ヒットした名曲です。キャンディーズや西城秀樹の名前をきいて動悸がする年代の方はご存じかもしれません。哀愁というか悲壮感おびてもなお、力強さと励ましをうける旋律です。知らない方も多いでしょうから一度YouTube等で歌詞の意味含め是非お聞き下さい。

私は現在65才となってしまいました。「かけはし」にださせて頂くのはじつは2回目です。最初は落合医院で診療を始めた直後で、もう20年ぐらい前でしょうか、その当時の私の抱負を書かせて頂いたと思います。その後は、三思会のご発展ぶりを真横で拝見させて頂き、私もそれを励みに地域医療の「かけはし」を目標に何とか頑張ってきました。アナログ的ですが、患者さんを診療させて頂く際、はなしをよく聞いて、説明も丁寧にするとこの当初の基本姿勢を持ち続ける努力もしてきました。一方、時代の流れで、院内のIT化もすすみ、XP現像機は消え、電子カルテは当たり前になり、設備は様変わりです。今

後も開業医のソフト、ハードはさらに変革されるでしょうが、どうすべきかは、あとを継ぐ息子たちとも話し合っていきたいと思います。

落合医院の継承は、長男片山大河が循環器専門の内科医、次男片山大地は小児科医で、今後時期が来たら任せるともります。ともに現在は都内の大学病院で修行中です。大河は2年半ほど前から火曜日に落合医院での診療を手伝わせています。大地の登場はまもなくの見込みです。

アナログからデジタル化への時代の流れのなかで、クリニックの継承を考える年齢となりました。今後は、三思会の皆様のご支援を、これまでと同様に頂きながら、地域医療へのさらなる貢献をめざし、次世代への“Bridge Over Troubled Water”となるべく研鑽を続けていく所存です。



片山大河 医師 片山文彦 院長

マンモグラフィサウンデー実施報告

2021

2021年 10月17日(日)は…

多様な年代の女性のための

日曜日に 乳がん検査を受けられる日です。

東名厚木メディカルサテライト健診センターで、10月17日(日)に「マンモグラフィサウンデー」が実施されました。

「マンモグラフィサウンデー」とは、仕事などで病院を訪れにくい女性のために、日曜日(10月の第3日曜日)

ナーを設置し、知識を深めてもらうための取り組みも行いました。

また、当日は受付から検査、問診まですべて女性スタッフが対応し、安心して検査を受けられるよう配慮されていることもポイント。利用者アンケートでも「女性スタッフのみで安心」との回答を多くいただいています。

毎年マンモグラフィサウンデーを利用しているリピーターも多く、受診者のニーズに応える取り組みが評価されています。

気になってはいるけれど、忙しくてなかなか検査が・・・という女性の方も多はず。次回のマンモグラフィサウンデーは、ぜひ受診してみたいかがでしょうか。

今年は例年に比べて多くの予約があり、11月14日(日)に日程を追加し実施したことから、乳がん検診への関心の高さがうかがえました。

10月17日(日)に乳がん検査が受診できます

に日本全国どこでも乳がん健診を行うことができるよう、日本乳がんピンクリボン運動の呼びかけにより、協賛する全国の健診機関等で実施されている取り組みです。

同センターでは2009年からスタートし、今年で13回目になります。

女性向け検査ということで、ピンクリボンを模した大きめの啓発ポスターを施設内各所に掲示したほか、乳がんに関する映像を待合室のモニターで放送したり、資料コー



がん相談支援センターだより



がんサロン

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も東名厚木病院及びがん相談支援センターをよろしくお願いいたします。

昨年は引き続き感染症対策に追われる一年間となりました。がん相談支援センターでは今まで皆さまとお話や交流が出来る場として講演会やがんサロンを企画・開催して参りました。しかし、今年は新型コロナウイルスの流行及び感染拡大の防止のため、病院では面会禁止の状況が続いています。

がん相談支援センターでも開催を予定していた講演や対面のがんサロンは中止せざるを得ない状況になりましたが、交流の場を絶やさないよう第2回目のオンラインがんサロンを12月11日に開催いたしました。今回は座長を外科の高坂医師にお願いし、第一部は呼吸器科の竹内医師から「がんの治療に関するお話」をテーマに免疫チェックポイント阻害薬等の昨今のがん治療についてご講演頂き、第二部は「がん治療で使用する薬剤について」をテーマとして薬剤師の相場さんと松田さんにご講演頂きました。短い広報期間にもかかわらず、申込は18人になり、当日の参加者はスタッフ含めて20名を超える参加がありました。主催側も慣れないオンラインの環境ではありましたが、みなさま熱心にご聴講頂き、また事前に頂いた質問以外にもチャットで沢山のお問い合わせやご感想を頂きました。今回のがんサロンが皆様の不安を少しでも和らげ、また明日へと向かう活力になればと願っております。

冬に入り新型コロナウイルス以外にも感染症の流行に対してはまだまだ予断を許さない状況です。がん相談支援センターでは引き続きオンラインでのがんサロンやミニサロン等を企画しています。詳細は決まり次第病院のホームページ上で告知致しますので、ぜひみなさまお気軽にご参加ください。

本年も皆様にとって良き年になりますよう、がん相談支援センターとして精一杯お手伝いさせて頂ければと存じます。

🌸 がん相談支援センター



働く仲間

入職／平成28年4月1日
氏名／加藤 裕太
2号館3階病棟 看護師



私は外科病棟で5年経験し、今年度から緩和ケア病棟に異動となりました。がんの患者さんを通して日々様々な経験をさせていただいています。その中で感じることは看護の醍醐味です。その患者さんがここまでどのように歩まれてこられたのか、そして看護師として「患者さんに自分は何ができるのだろう。」と毎日考えています。

患者さんやその家族から「ありがとう。」と言われたり、患者さんが穏やかな表情で過ごしている姿を見ると、やり甲斐を感じます。少しでも患者さんにとって良い時間を過ごしてもらえるように、私の「人間力」を積み重ねています。

入職／平成28年4月1日
氏名／草山 竜二
事務部 総務課 課長



みなさま、明けましておめでとうございます。昨年4月に第2事業部の介護老人保健施設さつきの里あつぎより、第1事業部 東名厚木病院の総務課に異動しました。異動年度においては、コロナ禍の真ただ中であり、感染対策・ワクチン対応で気が付けば2022年になっていたという気がします。

初めて就職した先は医療機関でしたが、20年近く介護の世界に居ましたので、この度、病院に異動した私は浦島太郎状態でした。しかし、各課みなさんの協力、総務課員の支えがあり、なんとか現在に至っております。まだまだ総務課長として、知識経験不足ではありますが、これからもみなさまに支えて頂きながら、地域の方々から頼りにされ、愛される法人となる一助を担える存在になれるよう精進してまいります。この記事が掲載される頃には、「さよならコロナ」「こんにちは日常」になっていることを切に願っています。三思会41周年目の年になります、良い(41)スタートをきっていきましょう！

かかしプロジェクト報告

本年は、当法人創立40周年を迎えました。コロナ禍で感謝祭のような、皆様にお集まりいただく行事は開催しがたい。ならば、感謝の気持ちをなんらかの形で表したい。その感謝のひとつとして、この“かかしプロジェクト”は始動しました。

当法人の母体である、東名厚木病院は田んぼの一角にあります。病院の増築、老人保健施設の建設、また患者・利用者ならびに職員の増加に伴う駐車場の整備等、40年のあゆみは、地域のニーズ、期待に応えていく拡張の歴史であり、またそれは近隣の、農作物を育て、土地を守っていく地権者の協力の賜物であります。

このかかしは車いす利用者とそれを押す職員、看護師、医師、松葉杖をつく患者にかたどった創作かかしです。中身は木材とはりがねとペットボトルできております。

40周年実行委員と有志とつくり、地元の方の多大な協力を得てこのような形になりました。

三思会創立40周年記念実行委員
石綿 祐樹



医療安全講演会開催



多くの後発医薬品の発売に伴う知識の習得や医薬品の安全な管理と取り扱い、高齢者への服薬指導など医師・看護師・薬剤師に求められる責任はますます大きくなっています。そこで、薬剤の安全性や再発防止に向けた提言など、薬剤師の立場から長年活動されてこられた一般社団法人 医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室 室長 土屋文人先生に講演をお願いしました。

テーマは「医薬品の安全管理・適性使用に関する最近の話題ヒューマンエラー防止中心から適性使用確保中心へ」で、11月12日にオンラインで行われました。

今回は、医療安全対策が行われるきっかけとなった1999年に発生した医薬品関連の重大事故について歴史を振り返りながら、医薬品の安全性についてお話されました。1999年は、奇しくも横浜市立大学医学部付属病院の患者取り違え手術事故が発生した年でもあります。

医薬品に限らず、医療事故の再発防止に向けて多くの対策が提言されていますが、未だに同じようなインシデントが発生しています。先生も講演の中で、安全で適切な薬物療法を行なうには、当事者意識を持って多職種協働(チーム医療)で継続的に「当たり前」の事を「当たり前」にやる事が大切であると提言されています。

今回の講演で、職員一人一人が当事者意識を持って安全な医療の提供を行うにはどうすべきか、大切な事を学ぶ事が出来ました。

社会医療法人社団三思会
東名厚木病院 医療安全管理室 安東まみ・竹田英子

令和3年 歳時一覽

主な院内行事	
1	<p>特別養護老人ホームはなの家とむろ 開設9周年 愛川クリニック 開設8周年 介護老人保健施設なでしこの里リハビリ ひらつか 開設2周年 BLS研修</p>
2	<p>とうめい厚木クリニック 開院19周年 Yangon Japan Medical Centre 開設2周年 第1回院内感染対策講演会 「新型コロナウイルスと感染制御」 講師：山梨大学医学部 附属病院 感染制御部 特任教授 井上 修 先生</p> <p>イブニングセミナー 「知っておきたい がんの基礎知識」 講師：鎌田 順道 医師</p> <p>オンラインがんサロン 「ステイホームでの過ごし方と注意点」ほか 講師：鎌田 順道 医師</p> <p>三思会40周年記念ロゴ決定・表彰式</p>
3	<p>訪問看護ステーションもみじ 開設22周年 とうめい綾瀬腎クリニック 開設4周年 初期臨床研修修了式 保険診療に関する研修会 中途採用者オリエンテーション 防災訓練 BLS研修</p>
4	<p>訪問看護ステーションさつき 開設26周年 南毛利地域包括支援センター 開設15周年 マザーホーム戸室 開設5周年 新入職員オリエンテーション 2020年度総括・2021年度目標発表会 BLS研修 2021年度三思会杯開催（ミニバスケットボール・少年野球・ソフトテニス／2021年7月3日まで）</p>
5	<p>全館停電検査 BLS研修</p>
6	<p>東名厚木病院 開院40周年 東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター 開院29周年 透析センター 開設35周年 ICLS研修</p>
7	<p>中途採用者オリエンテーション 医療安全講演会 「事例から学ぶ 医療コンフリクト・マネジメント」 講師：山梨大学 医学部 附属病院 特任教授・医療GCM 荒神 裕之 先生</p>

	<p>感染対策講演会 「これだけは知っておきたいコロナ時代の感染対策の基本」 BLS研修</p>	
8	<p>居宅介護支援センター 開設22周年 イブニングセミナー 「呼吸器疾患について」 講師：竹内 真吾 医師</p> <p>三思会40周年記念誌発行 クリニカルパス大会 臨床病理検討会 防災訓練・エアートント設置訓練 BLS研修</p>	
9	<p>介護老人保健施設さつきの里あつぎ 開設24周年 三思会40周年記念事業 チャレンジ健康月間 献血 BCP研修会 BLS研修 ICLS研修</p>	
10	<p>マンモグラフィサウンダー（東名厚木メディカルサテライトクリニック） イブニングセミナー 「形成外科による植皮と皮弁の基礎」 講師：高梨 遼 医師</p> <p>介護職員初任者研修（さつきの里あつぎ内 あつぎ介護職員研修センター／2021年11月16日まで） 緩和ケア研修会 ICLS研修</p>	
11	<p>マンモグラフィサウンダー（東名厚木メディカルサテライトクリニック） 医療安全講演会 「医薬品の安全管理 適正使用に関する最近の話題」 講師：一般社団法人 医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室 室長 土屋 文人 先生</p> <p>中途採用者オリエンテーション 三思会40周年記念事業「感謝のかかし」製作 三思会活動発表会 BLS研修 ICLS研修</p>	
12	<p>新横浜メディカルサテライト 開院6周年 オンラインがんサロン 「がんの治療に関するお話～免疫チェックポイント阻害薬等の昨今のがん治療について～」ほか 講師：竹内 真吾 医師 ほか</p> <p>保険診療に関する研修会 BLS研修</p>	



編集後記



●当院近く観音寺のイチヨウです。毎年みごとに黄色く輝く紅葉が見られるのを皆さんお気づきでしたか
(クッキー3)



●運動不足解消に週末ウォーキングをしてみました。思いがけず10キロも歩きました。写真を撮りながら歩くと、あっという間に時間が過ぎます。
(おちやがかり)



●私は東京タワーが大好きです。縁起の良い場所!パワースポット!そんな感じですよ。(すみれ)



●「招き猫」に代表されるように、猫は昔から縁起のよい生き物といわれています。今年の干支の虎もネコ科ですので、たくさんの福を招く一年になればと思います。(里うさぎ)



●少し前に東京大神宮へ行った時の写真です。扉の金具がハートになっていて、待ち受けにすると良いそうです♡
(バナ男)



●檀原神宮の金鶏みくじ。おみくじの内容は忘れがちですが、この姿を見るたびに癒されています。(豆大福)

ペットのはなし その68

我が友はるまる (イタリアングレーハウンド/オス)

ある日突然職場の電話が鳴り、Kさん娘さんから電話です。えっ娘から電話…何かあったのか? 電話に出るとペット



欲しい!あつ買っちゃった、でした。家に帰ると家族に囲まれ怖いのか脅えていたのを覚えています。

名前ははるまる。はるまるは日に日に大きくなり家のアイドル的存在です。もともと猟犬として活躍していた犬種ですが、はるまるは穏やかで優しく、甘えん坊な性格で家族といえるのが大好きです。また、遊ぶ事と食べる事が好きで100m9秒を切る速さで走り、ドックフードの袋のあく音で貰える事が分かり、その後はひたすら寝ます。

そんなはるまるは今年で11才になり、私より年上になってしまいました。はるまるは家のアイドルから家族の一員になり今では私の唯一の理解者だと思っています。これからもどうかよろしく。犬種を知りたい人は是非、YouTubeで! K

各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



●無料送迎バスを運行しています。

詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>